



横浜銀行

CONCORDIA
コンコルディア・フィナンシャルグループ

2025年5月17日

横浜銀行における脱炭素戦略について

横浜銀行

1. サステナビリティ長期KPIの設定

- コンコルディア・フィナンシャルグループは、グループサステナビリティ方針に基づき、2030年度までの「サステナビリティ長期KPI」を設定しております。
- カーボンニュートラルに向けた取り組みを一層進めるため、2023年6月に同KPIの一部を、上方修正して取り組みを加速しております。

サステナビリティ長期KPI ～カーボンニュートラルに向けた2030年中間目標～



2030年度までに
サステナブルファイナンス

実行額 **4兆円**^{*1}

うち環境分野ファイナンス2兆円^{*2}

修正前：サステナブルファイナンス
実行額2兆円、うちグリーン
ファイナンス1兆円



2030年度までに

**カーボン
ニュートラル**
(対象はScope1および2)



2030年度までに
金融教育受講者数

50万人^{*3}

修正前：金融教育受講者数10万人

2. サステナビリティ長期KPIの実績

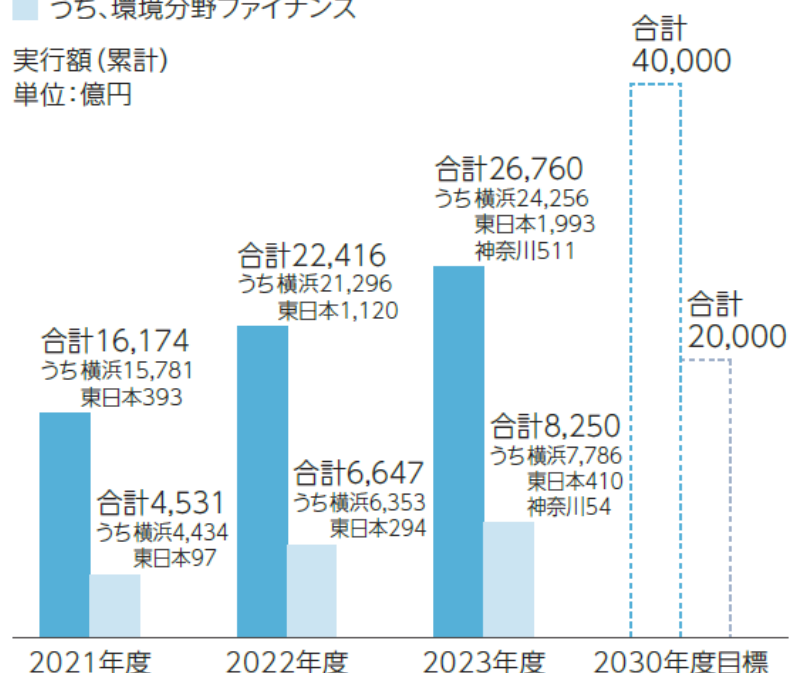
- サステナブルファイナンスおよび自社のカーボンニュートラルの実績は、以下の通りとなっております。

サステナブルファイナンス

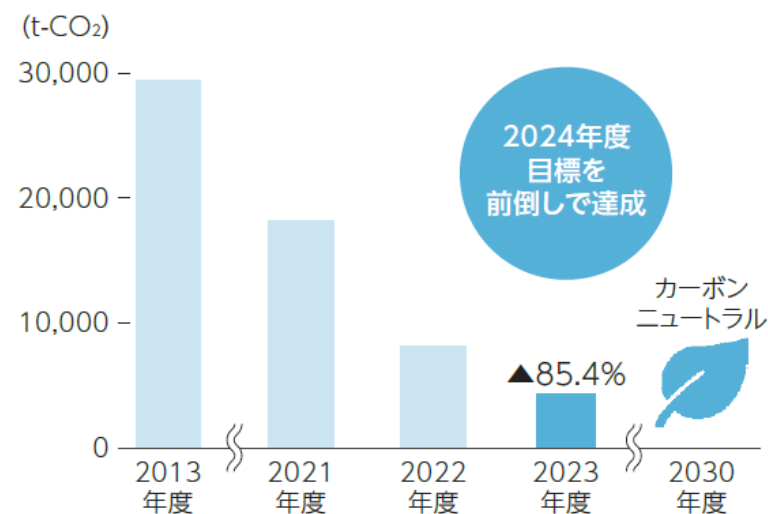


■ サステナブルファイナンス
■ うち、環境分野ファイナンス

実行額 (累計)
単位: 億円



自社のカーボンニュートラル



指標	目標	2023年度実績
サステナブルファイナンス実行額 (累計)	2030年度までに4兆円	2.6兆円
環境分野ファイナンス実行額 (累計)	2030年度までに2兆円	0.8兆円

指標	目標	2023年度実績
GHG排出量 (Scope 1および2)	2024年度までに2013年度比80%削減	4,284t-CO ₂
	2030年度までにカーボンニュートラル	2013年度比85.4%削減

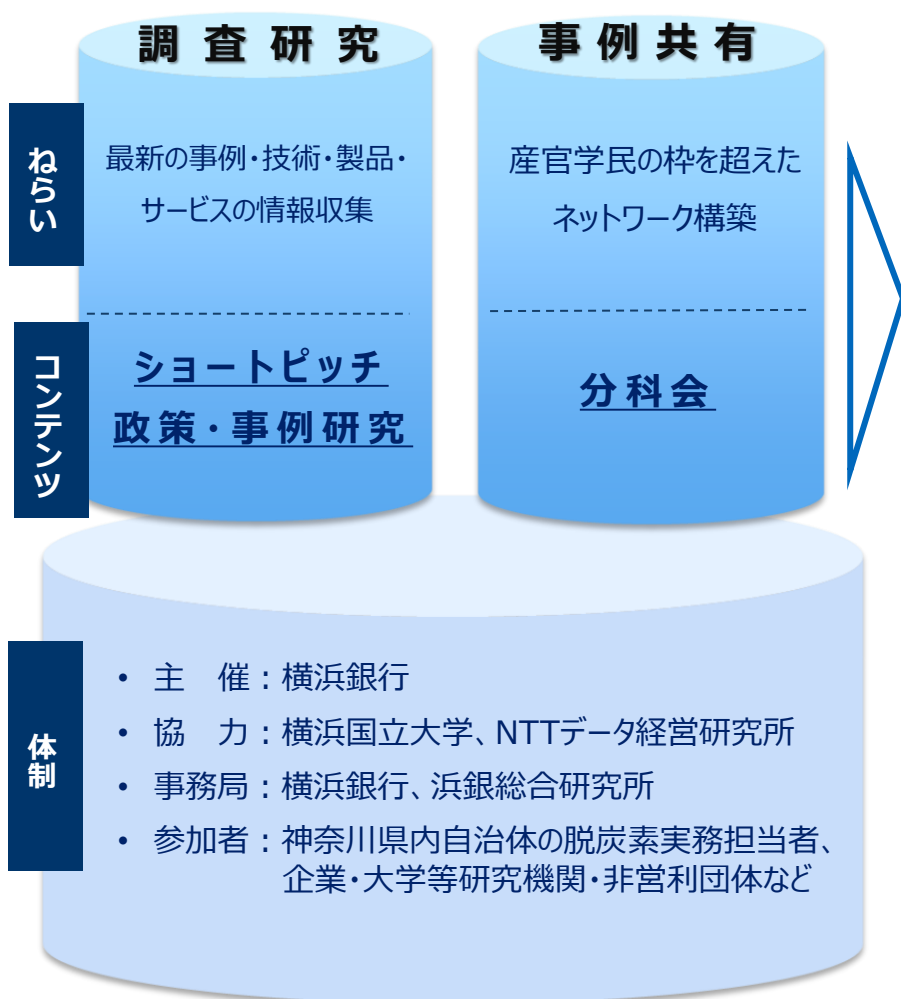
* 横浜銀行・東日本銀行・神奈川銀行 (2023年度実績より加算) の合算

* 当社および当社連結子会社の国内拠点の合算

3. 地域脱炭素プラットフォーム

- 神奈川県内における脱炭素社会実現に向けた取り組みも進めております。
- 神奈川県を含む31自治体に参加しており、官民連携による情報連携に加え、脱炭素領域の企画を展開しております。

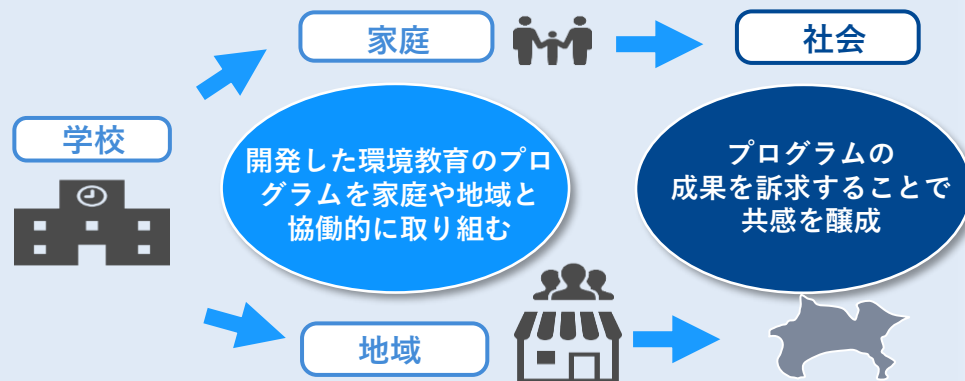
官民連携による「地域脱炭素プラットフォーム」



<はまぎん環境教育プログラム>

小学生が廃食用油を家庭・地域から集め、SAF（持続可能な航空燃料）を精製する取組み

【実施校】西前小学校・平沼小学校・青葉台小学校・森の里小学校



4. 地方銀行との取り組み

- 2022年11月に開始した「MEJARサステナビリティソリューション連携」では、脱炭素社会への実現に向けて、各種プロダクト連携、共同セミナー開催、広域アンケートの実施など、様々な取り組みを進めております。
- 引き続き、GHG排出量測定から行員教育に向けたサステナリテラシー施策など、サステナビリティ領域の高度化をはかっていきます。



MEJARサステナビリティ
ソリューション連携



北海道銀行



77 七十七銀行

東日本銀行



横浜銀行



北陸銀行



広島銀行



連携の概要、目標

- ◆ 営業基盤が異なる6つの地域金融機関が連携し、お互いの経営資源やノウハウを有効活用
- ◆ お客さまに最適なサービス、ソリューションを提供するための連携施策を立案・推進し、地域社会の持続的な発展につなげている

これまでの主な取り組み



プロダクト

- カーボンオフセット型私募債の取り扱い開始（2023年4月～）



セミナー

- 「脱炭素経営セミナー」を共同開催し、約400名参加

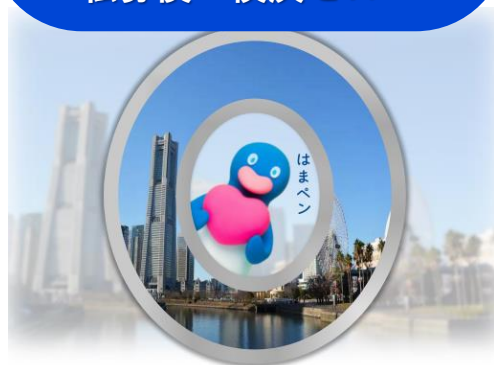


アンケート

- 地域企業の脱炭素への取り組みなどを把握するため、共同アンケートを実施し、2025年2月に第二回結果を公表

<はまぎん>

カーボンオフセット型
私募債～横浜ゼロ～



脱炭素経営に関する
お客さまアンケート



北海道、宮城県、富山県
東京都、神奈川県